

国指定重要無形民俗文化財

「奥能登のアエノコト」

奥能登の農村だけに信仰されている「田の神様」は、稲作だけではなく、夫婦の神、山の神、家の神を習合しており、畑作も守っている。田の神様は夫婦で「昼夜の区別なく泥田の中で田を守り続け、疲れのために失明した」とも「稲穂で目を傷つけられ片目になった」ともいわれ、目が不自由だといわれている。

奥能登の農家では、12月5日に田の神様を田んぼから迎え、ごちそうでもてなす神事「アエノコト」が今も伝承されている。この日から2月9日の「春のアエノコト」まで、田の神様は家の中で家族と過ごす。

農耕に従事してきた国民の基礎的生活の特色を典型的に残すアエノコトは、昭和51年に国指定重要無形民俗文化財に指定された。



地への感謝



広報のと 第35号

平成20年1月1日発行

■発行・能登町 ■編集・広報情報推進課
〒927-1049
石川県鳳珠郡能登町宇出津新1字1-9-7番地1

☎：0768-62-10000
FAX：0768-62-11111
URL：http://www.town.noto.shikawa.jp
Eメール：info@town.noto.lg.jp

広報のと No. 35 2008.1

能登

海の恵み

1

平成20年